

I 労働市場の概況

【平成23年5月の県内の概況】

新規求職者数は4ヶ月連続で前年同月を上回っている。新規求人数は主要産業で、建設業、製造業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、サービス業(他に分類されないもの)のすべてで増加し、全体としては19ヶ月連続で前年同月を上回っている。

○求人倍率の動向

5月の有効求人数(季節調整値)は、前月に比べ2.3%減少し、有効求職者数(季節調整値)は1.4%減少した。

この結果、求職者1人当たりの有効求人数を示す有効求人倍率(季節調整値)は0.59倍で、前月より0.01ポイント下回った。正社員における有効求人倍率(原数値)は0.29倍となり、前月より0.02ポイント下回った。

○求人の動向

新規求人(パートを含む)は8,293人で、前年同月に比べ25.8%増加した。うちパートを除く求人は5,240人で、同25.0%増加し、パートタイム求人は3,053人で同27.2%増加した。

主要産業別に前年同月比でみると、建設業が53.2%、製造業が29.8%、運輸業・郵便業が16.4%、卸売業・小売業が33.5%、宿泊業・飲食サービス業が56.8%、医療・福祉が34.5%、サービス業(他に分類されないもの)が1.7%とともに増加した。

○求職の動向

新規求職者は9,939人で、前年同月に比べ8.8%増加した。うちパートを除く求職者は6,991人で同6.6%増加し、パートタイムの求職者は2,948人で同14.2%増加した。

新規常用求職者(パートを除く。)を態様別に前年同月比でみると、在職者は15ヶ月連続増加し、離職者は9ヶ月連続減少した。また、無業者は22ヶ月連続で増加している。

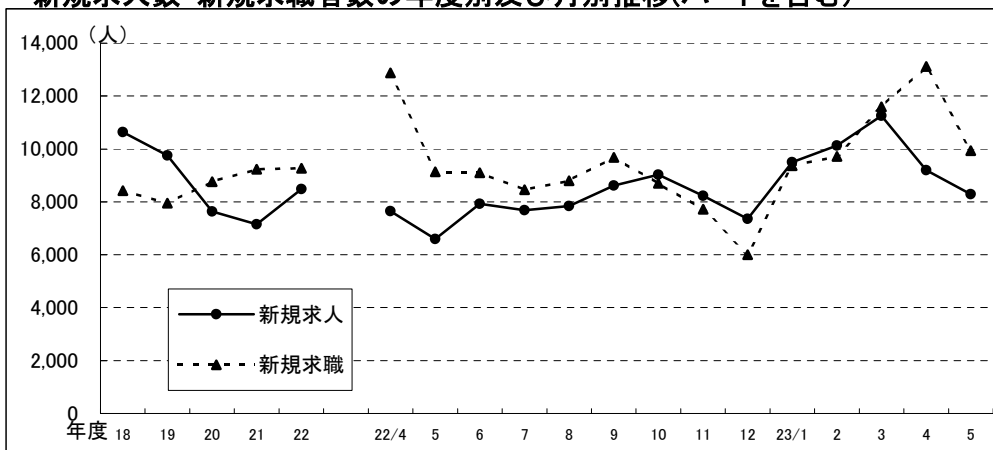
離職者のうち定年退職者は115人で前年同月に比べ7.3%減少し、事業主都合離職者は1,523人で同8.9%減少、自己都合退職者は2,746人で同6.1%増加、離職者全体では4,566人で同0.5%減少した。

○就職の動向

就職件数は3,324人で、前年同月に比べ9.9%増加した。

新規求職者に対する就職件数の割合(就職率)は33.4%で、前年同月比で0.3ポイント上回った。

新規求人数・新規求職者数の年度別及び月別推移(パートを含む)



新規求人数(原数値)が、前年同月比で19ヶ月連続で増加した。

(注) 文中の正社員有効求人倍率は正社員の月間有効求人数をパートタイムを除く常用の月間有効求職者数で除して算出しているが、パートタイムを除く常用の有効求職者には派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。また産業分類は、平成19年11月改定「日本標準産業分類」に基づくものである。(第5表産業別・規模別新規求人状況も同様である。)